



～速川地区～ 市長のまちづくり ふれあいトーク



氷見市空き家情報バンク

空き家の有効活用を考えてみませんか？

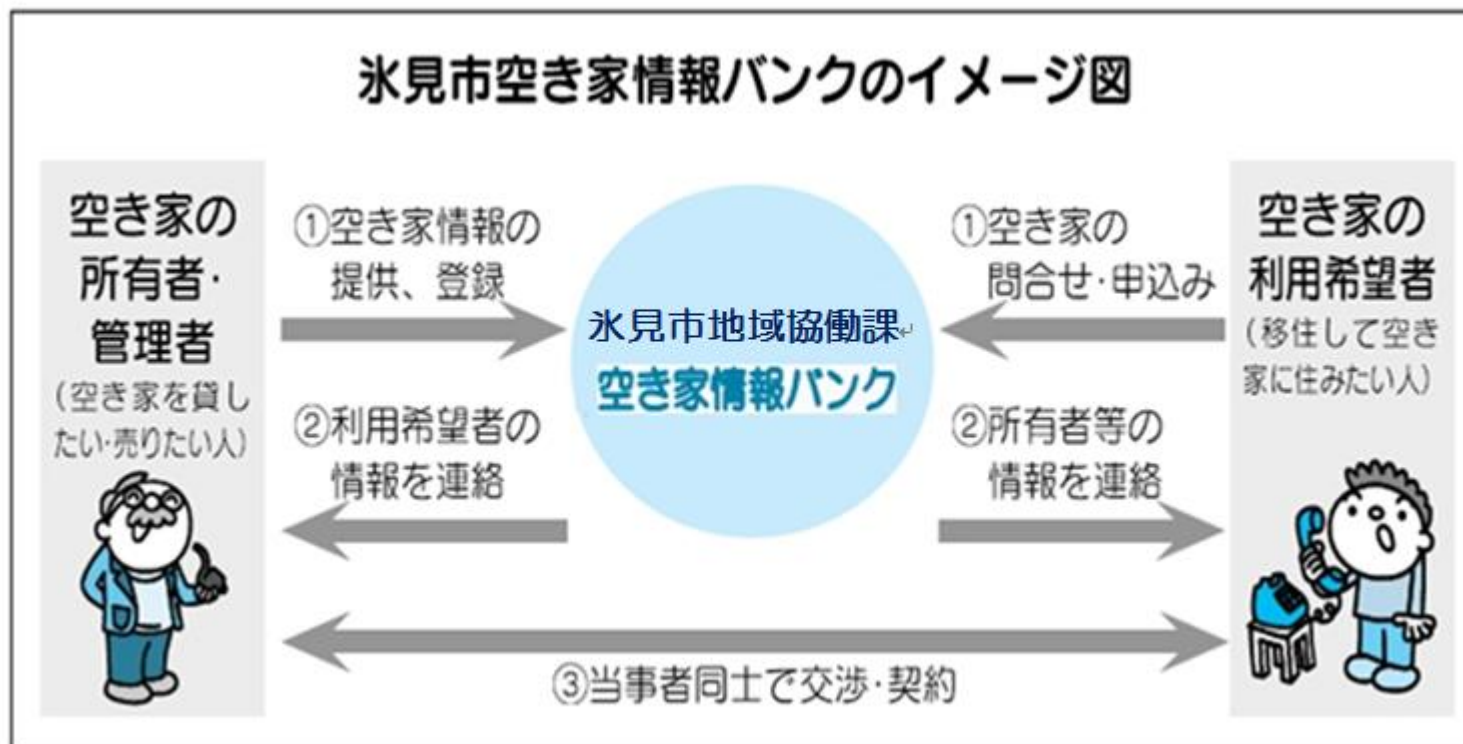
企画振興部地域協働課



空き家情報バンクって何？①

氷見市への定住促進と空き家の有効活用のために、市外から氷見市への移住希望者に氷見市の空き家を紹介する仕組みです。

氷見市空き家情報バンクのイメージ図



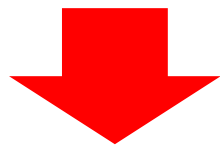
(H18～実施)

空き家情報バンクって何？②

氷見の海や山などの自然環境は、都市住民の方々にとって大変魅力があります！

「海が見えるところで生活したい！」

「農作業（家庭菜園）をしながら、
スローライフを楽しみたい！」



空き家物件 大募集中！！

お気軽に地域協働課まで♪



空き家情報バンクのこれまでの実績①

(1) 氷見市へ移住された方の数

25世帯55人 (H18~H24)

成約年度	売却・賃貸の別		合計
	売却	賃貸	
平成18年度		1件	1件
平成19年度	2件	2件	4件
平成20年度	2件	4件	6件
平成21年度	1件	1件	2件
平成22年度	1件	6件	7件
平成23年度		2件	2件
平成24年度	1件	2件	3件
合計	7件	18件	25件

空き家情報バンクのこれまでの実績②

(2) 移住された 方の前居住地

首都圏＞北陸＞東海
の順で、移住された
方が多い状況

都道府県名	件数	人数
山形県	1件	1人
埼玉県	3件	8人
東京都	5件	7人
千葉県	1件	3人
群馬県	1件	4人
岐阜県	1件	2人
石川県	3件	7人
愛知県	2件	7人
大阪府	1件	2人
兵庫県	1件	2人
長崎県	1件	2人
富山県内	5件	10人
計	25件	55人

空き家情報バンクのこれまでの実績③

(3) 移住された方の年代

60代以上の方が一番多い。
近年は若年者（30～40代）の移住希望者も増加傾向か。

世代	人数
10歳未満	9人
10代	3人
20代	3人
30代	9人
40代	8人
50代	8人
60代以上	15人
計	55人

空き家情報バンクのこれまでの実績④

(4) これまでの累計登録件数

空き家物件－ 1 0 4 件（現在取扱い件数 2 0 件）

利用希望者－ 1 7 2 件（現在有効者数 8 9 人）

利用希望者から要望が比較的多い中山間地域や山間部の物件はまだまだ登録が少ない状況です。

★ぜひ、登録についてご検討ください！

氷見市民憲章

～ みんなでつくる わたしたちのまち ～

はるかに立山連峰を望む氷見市は、海から里山まで広がる豊かな自然に恵まれています。また、先人の知恵に学びながら、様々な歴史や文化を育んできました。

この美しいふるさとに愛着と誇りをもち、さらに市民が主役となってまちづくりを進めることを目指し、ここに市民憲章を定めます。

第1章 自然と調和したまち

海と大地の恵みに感謝し 豊かで美しい自然を守ります

第2章 笑顔あふれるまち

温かい家庭や地域の中で 健やかな心と体を育みます

第3章 安全安心なまち

信頼のきずなで支え合い 心豊かに暮らせるまちを築きます

第4章 市民が協働するまち

市民一人一人が自分のよさを生かし まちづくりに参加します

第5章 活力ある交流のまち

人も心も通い合う にぎわいと活気に満ちたまちをつくります

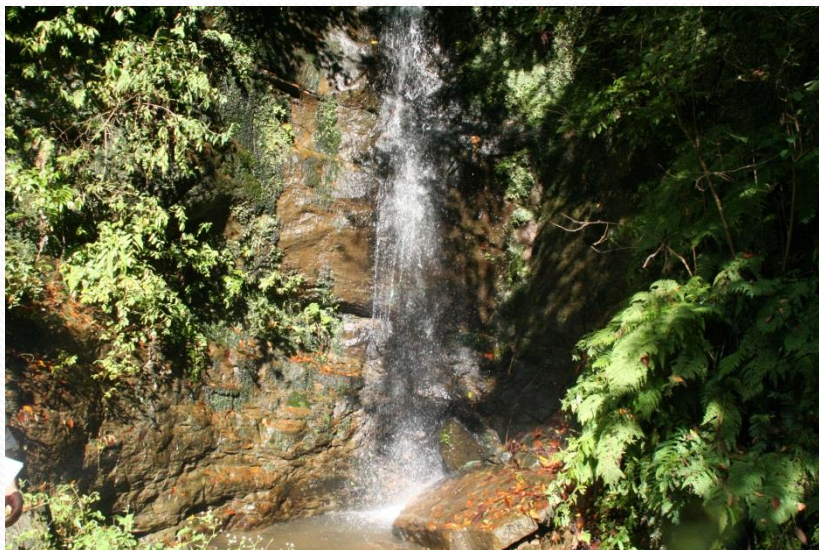
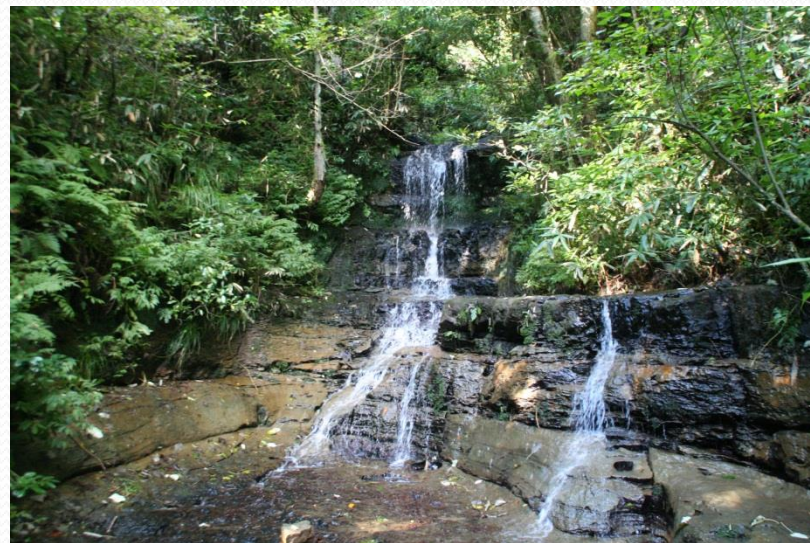
ほんがわ

ゆうじろう

氷見市長 本川 祐治郎

—ふれあいトーク—







たなせ よしあき
副市長 棚瀬 佳明

—ふれあいトーク—

まえつじ あきお

教育長 前辻 秋男

たかはし まさあき

企画振興部長 高橋 正明

企画振興部：企画政策課、地域協働課、商工観光戦略課、
水産振興課、漁業交流施設整備推進室

- (1) 市の総合的企画、秘書、広報
- (2) 地域協働、防災、交通・防犯
- (3) 商工業、労働、観光
- (4) 水産業
- (5) 漁業交流館の整備

いけだ しずお
防災・危機管理監 池田 士壽男

・自然災害や原子力防災対策

はまい ひろふみ
総務部長 濱井 博文

総務部：総務課、財務課、税務課

- (1) 行政一般
- (2) 統計
- (3) 職員の進退及び身分
- (4) 財政、財産
- (5) 税

みやもと ひでお

市民部長 宮本 秀夫

市民部：福祉課、市民課、健康課、環境課、
病院事業管理室

- (1) 保育所運営、児童福祉、老人福祉
障害者福祉、生活保護
- (2) 健康診査、予防接種、介護保険
- (3) 戸籍届出、住所異動、印鑑登録
- (4) 国民年金、国民健康保険、後期高齢者
医療制度
- (5) ごみ処理、斎場運営、リサイクル

じょうづか のぶとし

建設農林部長 定塚 信敏

建設農林部：建設課、都市計画課、上下水道課、
農林課

- (1) 道路、河川
- (2) 都市計画、住宅、建築
- (3) 上水道、下水道
- (4) 農業、林業、農地

能越自動車道対策室長（建設課長兼務）

ふくしま

まさのり

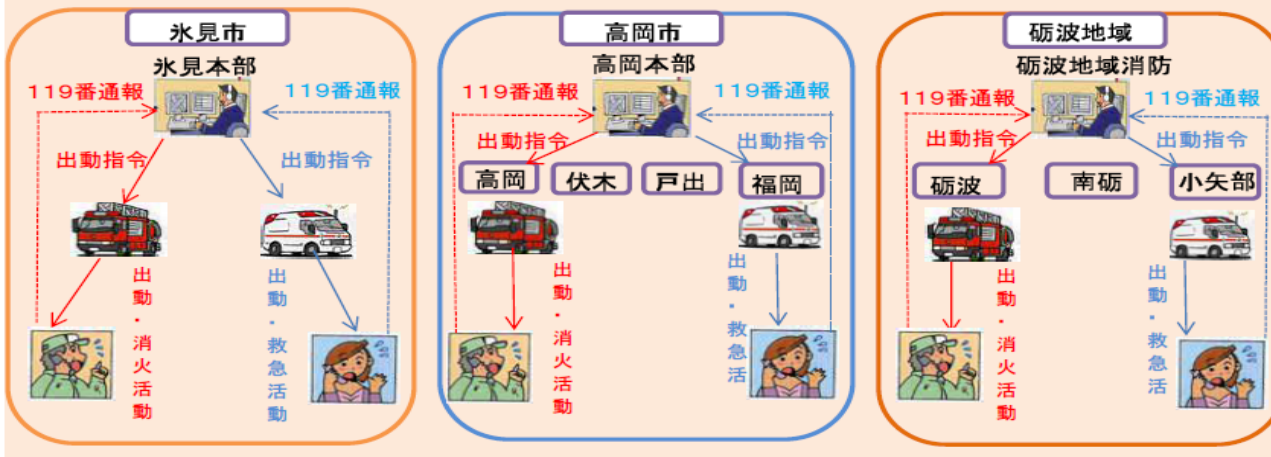
福嶋 雅範

- ・能越自動車道の整備推進
- ・市管理の道路整備、管理

消防長 堂尻 繁 どうじり しげる

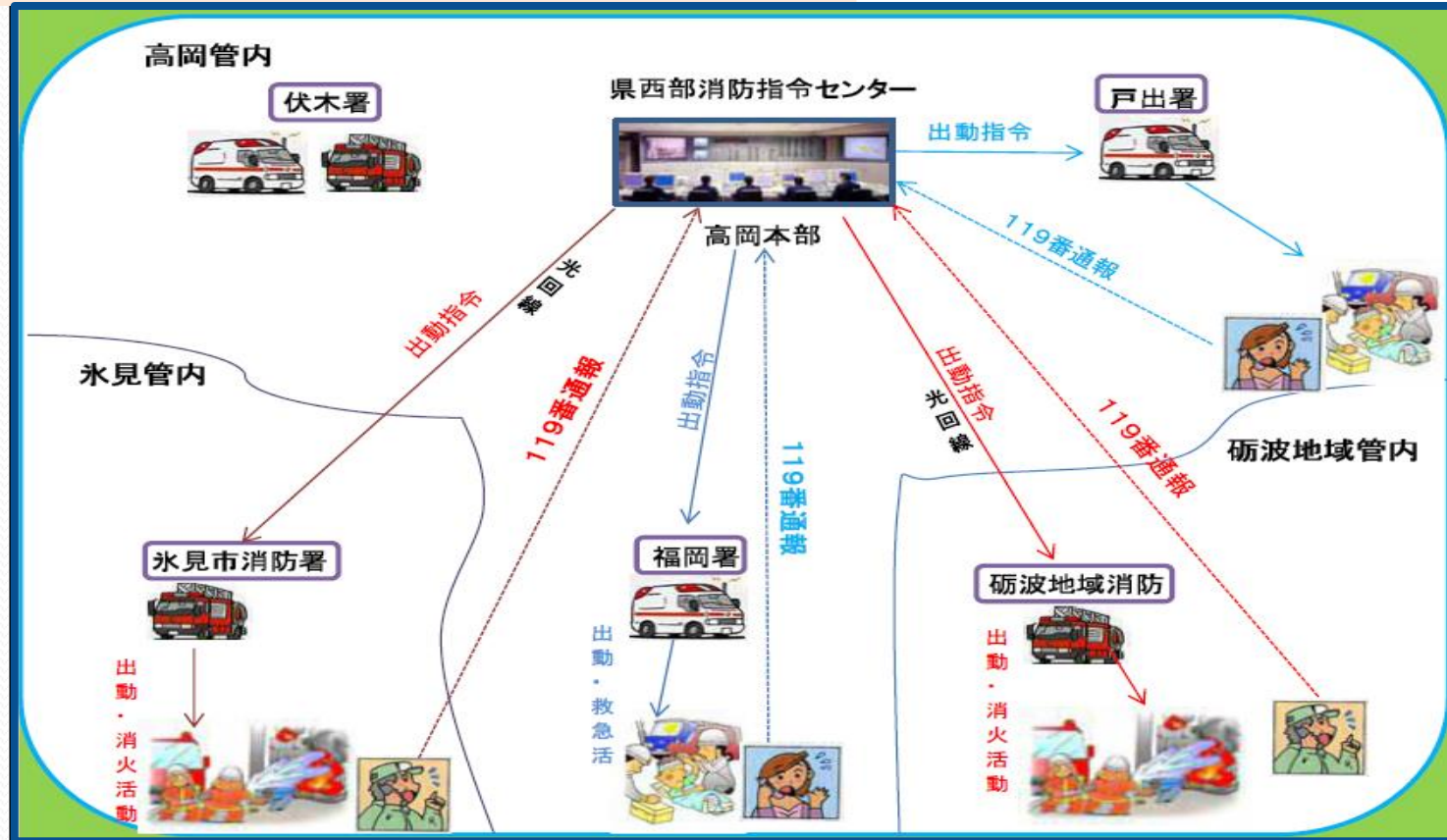
・消防、予防、救急

消防指令事務の単独運用図(現在)



消防指令事務 共同運用

仮運用H25.12.2
本運用H26.1.1



火災情報の
問合せ
12月2日～
22-9999

教育次長(学校教育課長兼務)

はやし かつみ

林 克己

- ・社会教育(文化、スポーツ)
- ・学校管理

教育次長（総合教育センター所長兼務）

かの

ようこ

加野 陽子

・学校教育、教育研究

—ふれあいトーク—

地域担当職員

財務課

きょうだ

京田

たけひこ

武彦

上下水道課

かわはな

河端

よしゆき

良之

市政について

氷見市長 本川 祐治郎

—ふれあいトーク—

ハードからソフト、ソフトからハートへ

つぶやきを形に

市民はまちの使い手の専門家

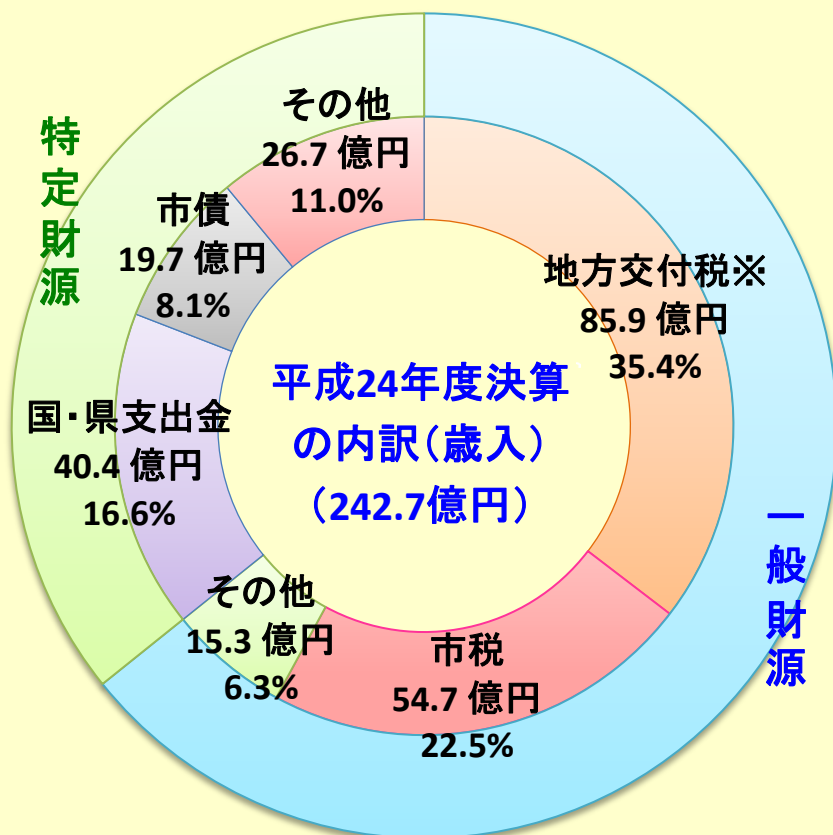
—ふれあいトーク—

『氷見市の予算について』

～9月補正予算の概要及び市の財政状況～

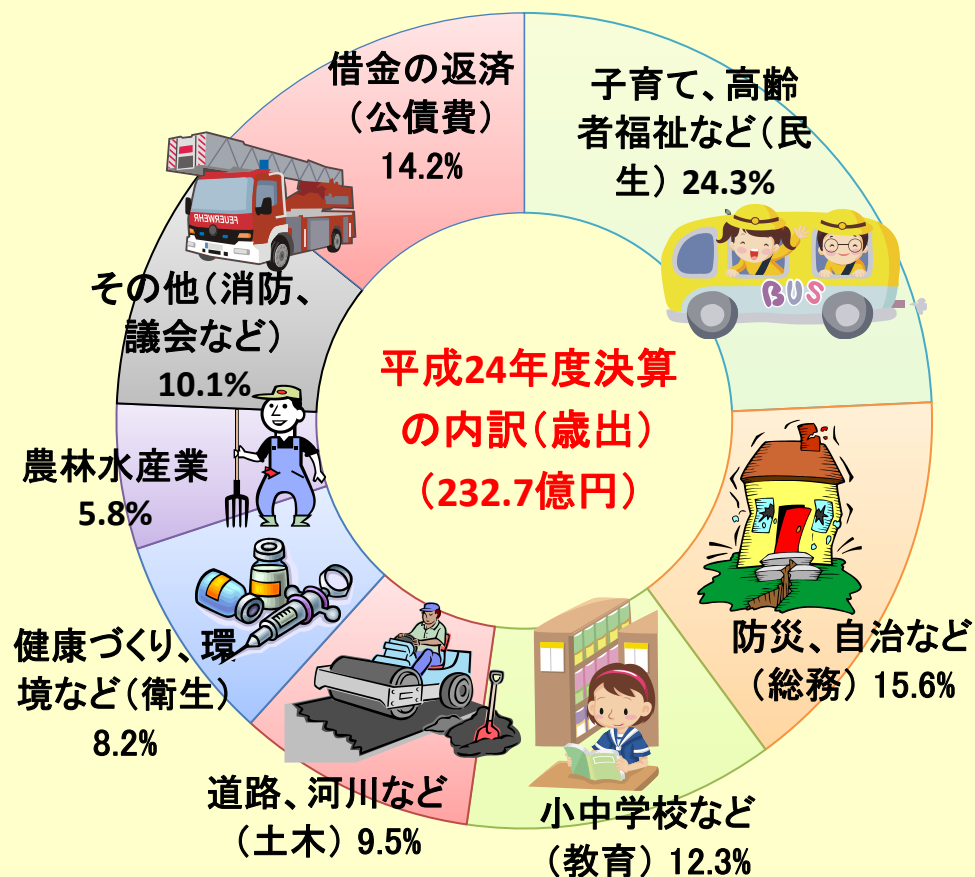
決算の内訳(平成24年度)

【歳入】



※「地方交付税」には、交付税の振り替えである「臨時財政対策債」を含む

【歳出】

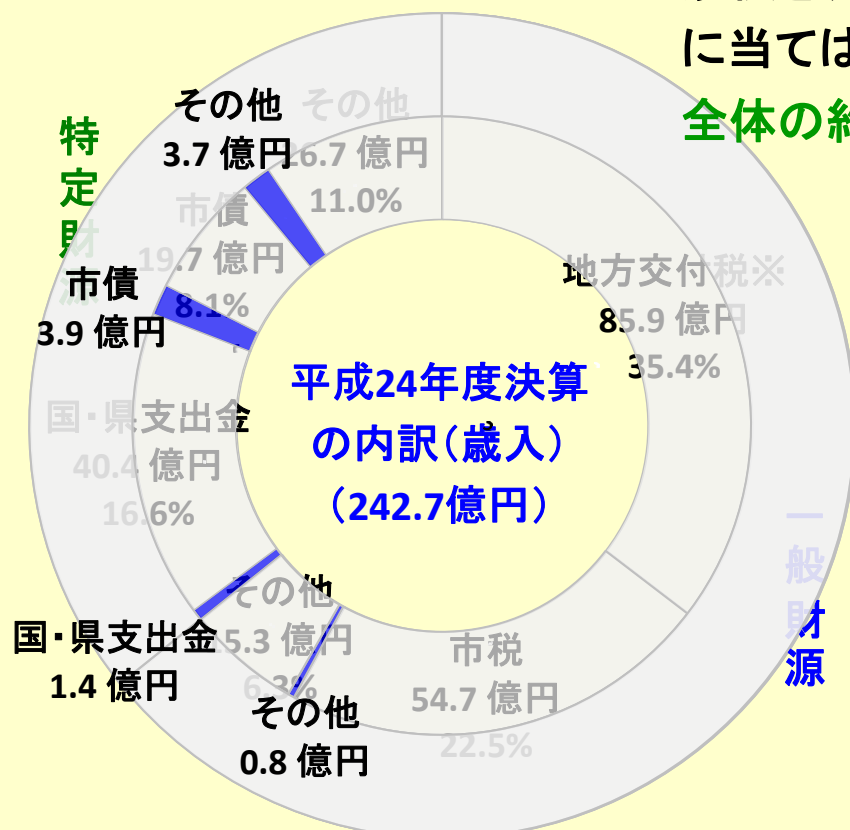


決算の内訳(平成24年度)

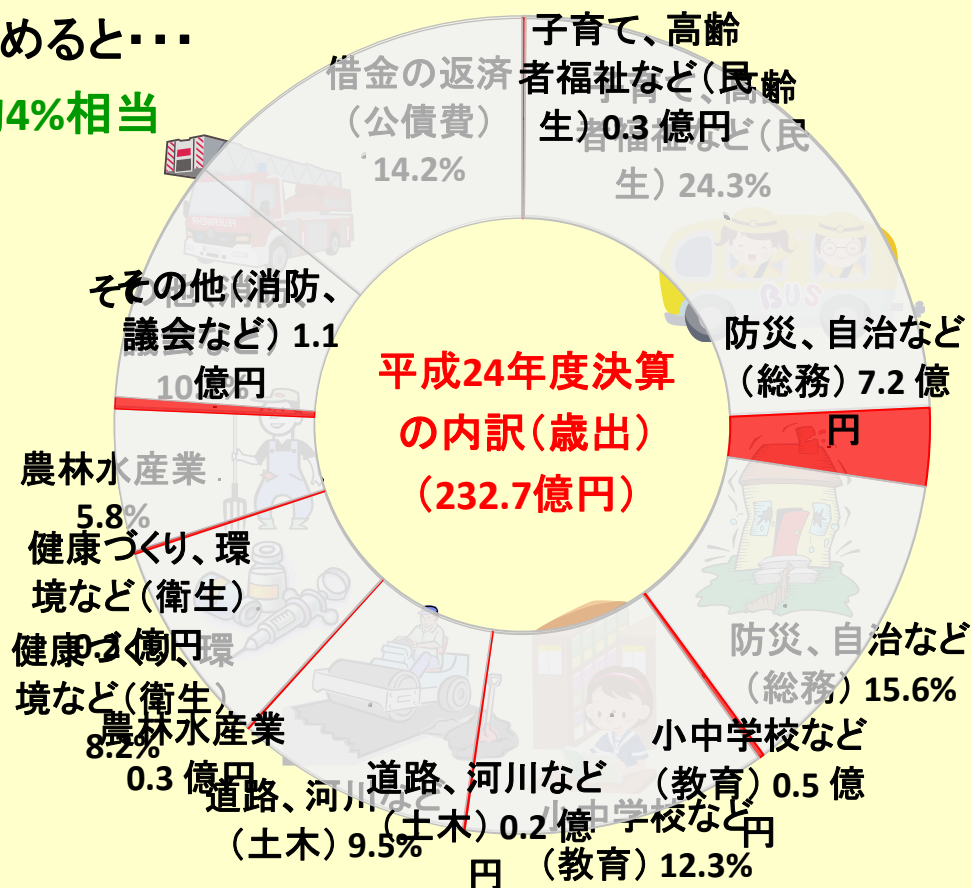
【歳入】

今回(9月補正)の予算
規模を、平成24年度決算
に当てはめると…

全体の約4%相当

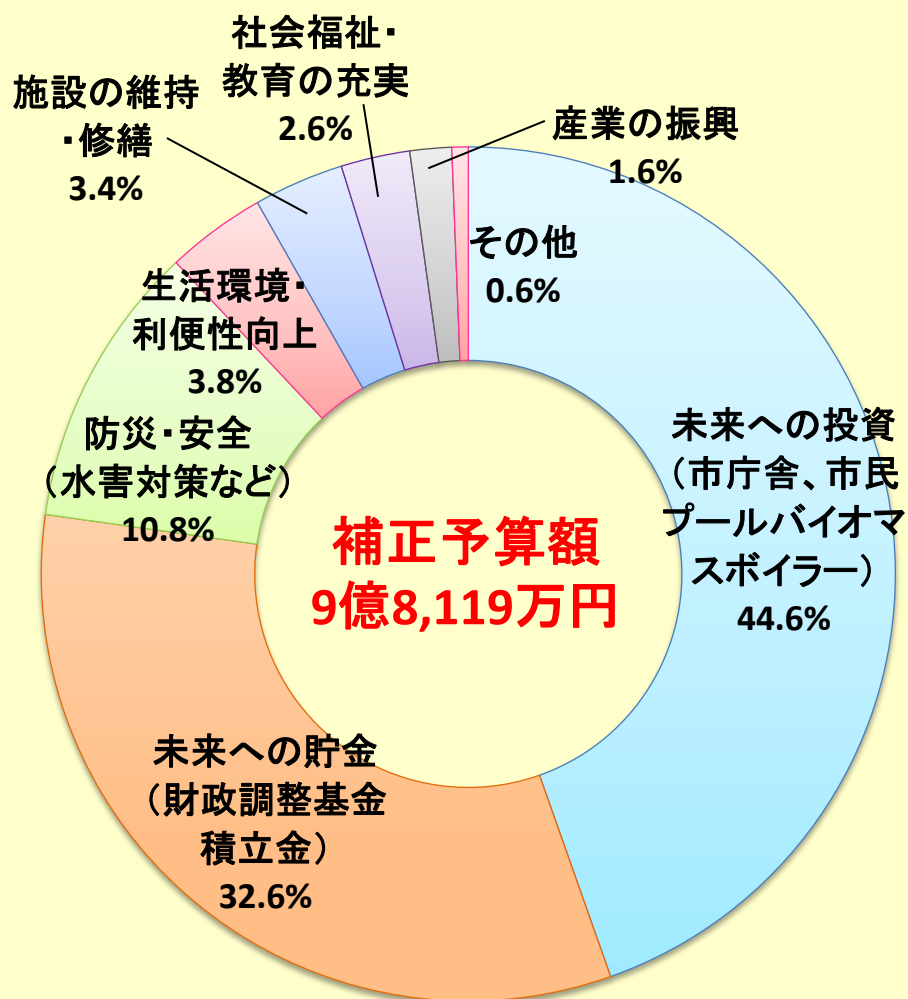


【歳出】



9月補正予算の内容

【補正予算の内容】



④施設の維持・修繕

3,350万円

- 道路修繕 1,800万円
- 小中学校修繕 347万円

⑤社会福祉・教育の充実

2,562万円

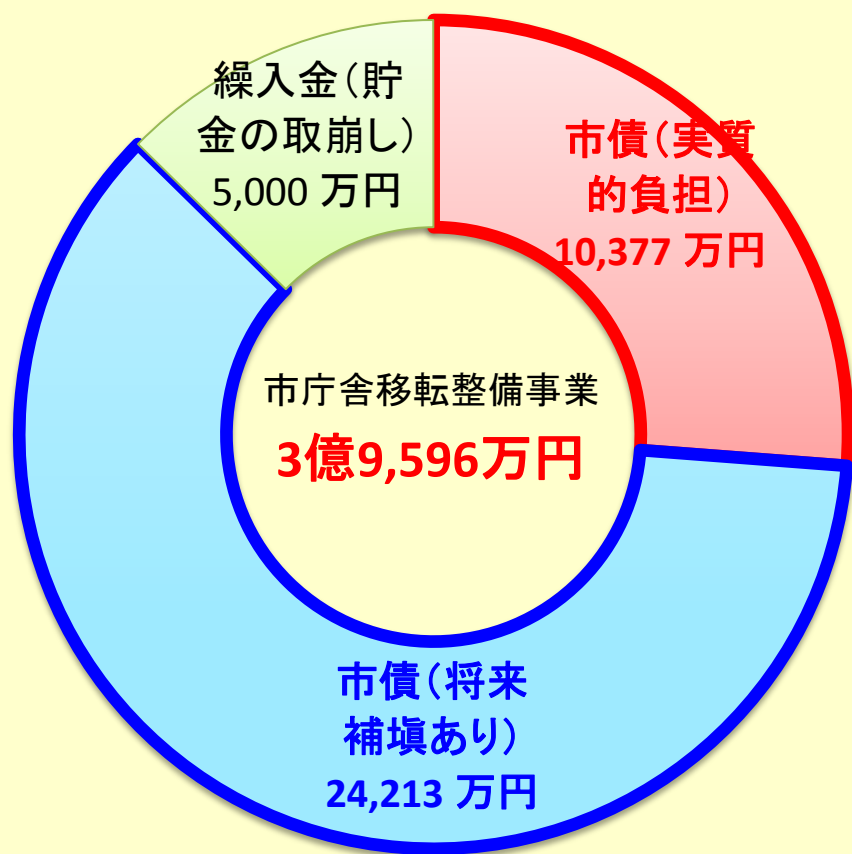
- 保育所大規模修繕 1,260万円
- 小中学校教材購入 513万円
- 生活・介護サポーター養成 360万円

⑥産業振興 1,547万円

- 中山間地域営農組織支援 1,000万円

市庁舎移転整備事業の財源

市庁舎移転整備事業の追加分(3億9,596万円)を
市民の税負担に当てはめると・・・



「緊急防災・減災事業債」の借入れが認められれば・・・

市民ひとりあたり
約201円／年の負担
(10年間)

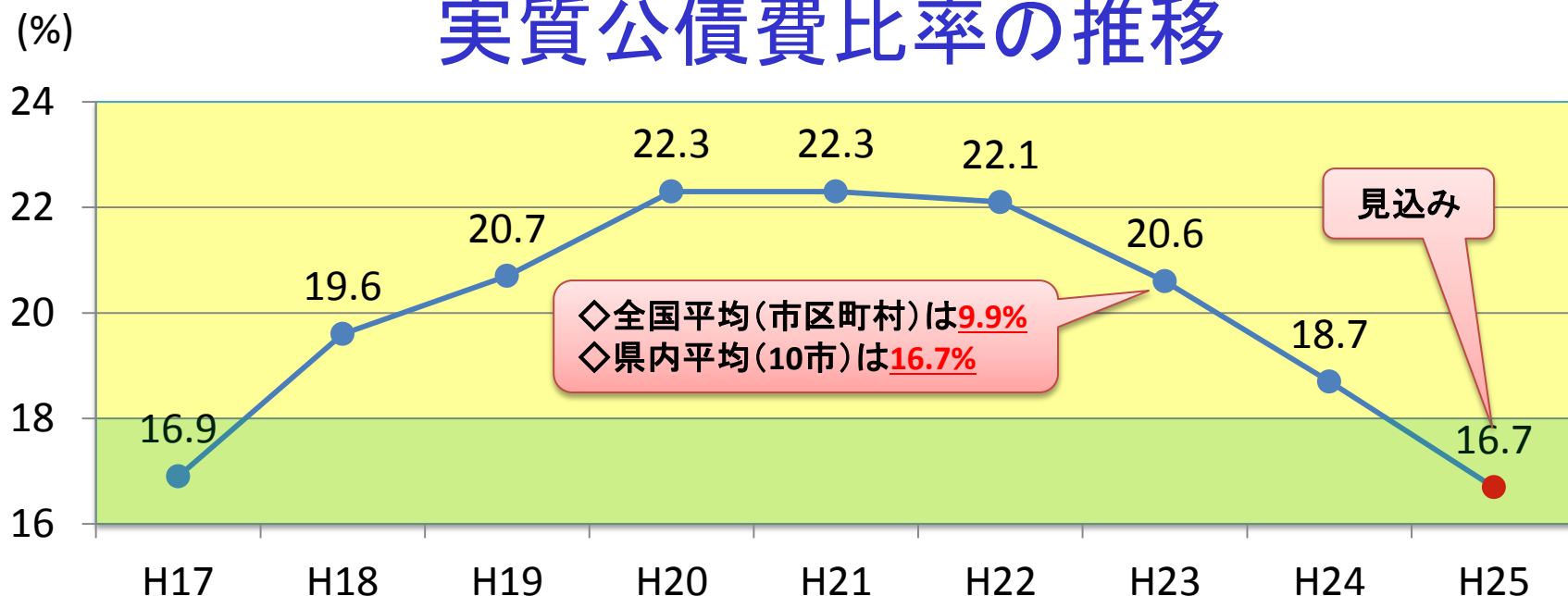
借入れが認められなければ・・・

市民ひとりあたり
約670円／年の負担
(10年間)

(※借金の元金に係る負担)

氷見市の財政状況①

実質公債費比率の推移



◇35.0%以上:財政再生団体

⇒「財政再生計画」の策定、公表等が義務づけられ、地方債の発行が制限される

◇25.0%以上:早期健全化団体

⇒「財政健全化計画」の策定、公表等が義務づけられる

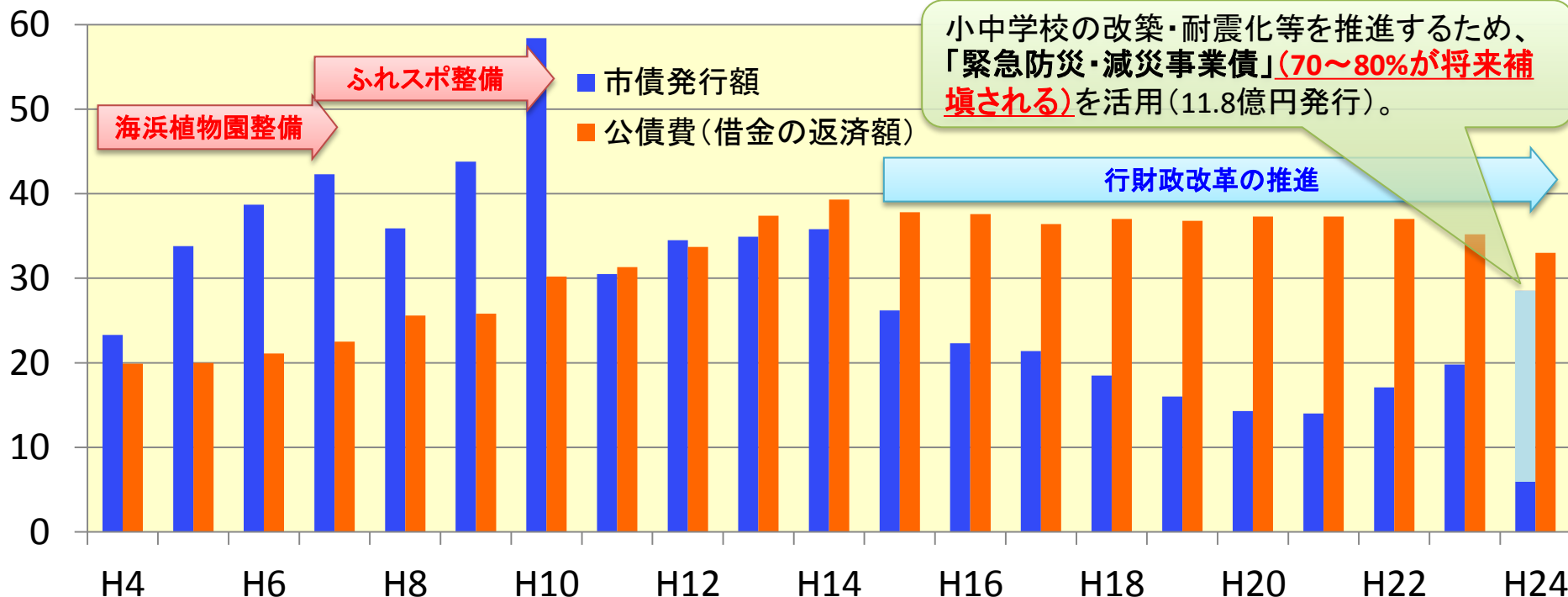
◇18.0%以上:起債許可団体

⇒地方債の発行に都道府県知事の許可が必要となる

氷見市の財政状況②

市債発行額と公債費の推移

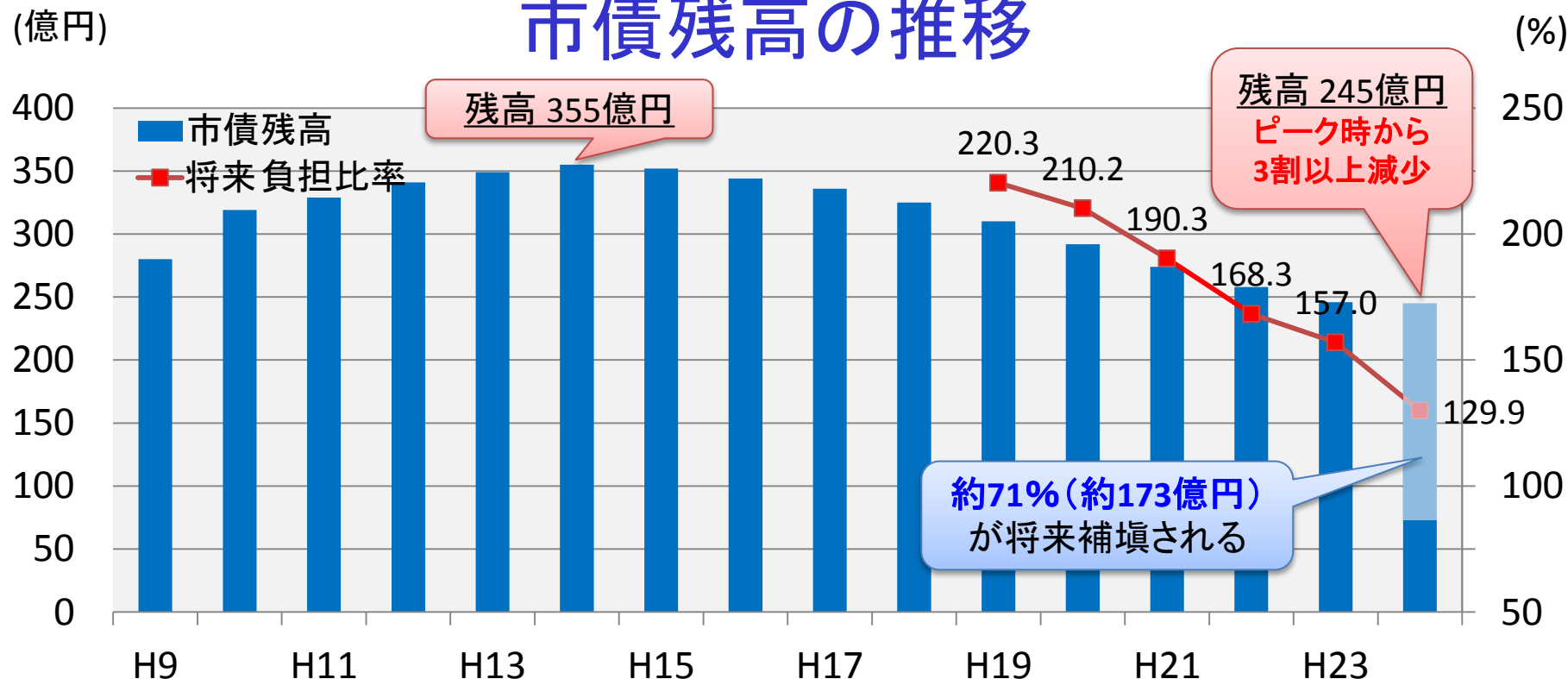
(億円)



事業	総事業費	(うち市債)	実質負担額	実質負担割合
ふれあいスポーツセンター整備	45.5億円	(40.3億円)	23.7億円	5割
海浜植物園整備	20.7億円	(16.0億円)	12.1億円	6割
市庁舎移転整備	19.4億円	(16.3億円)	7.3億円	3割

氷見市の財政状況③

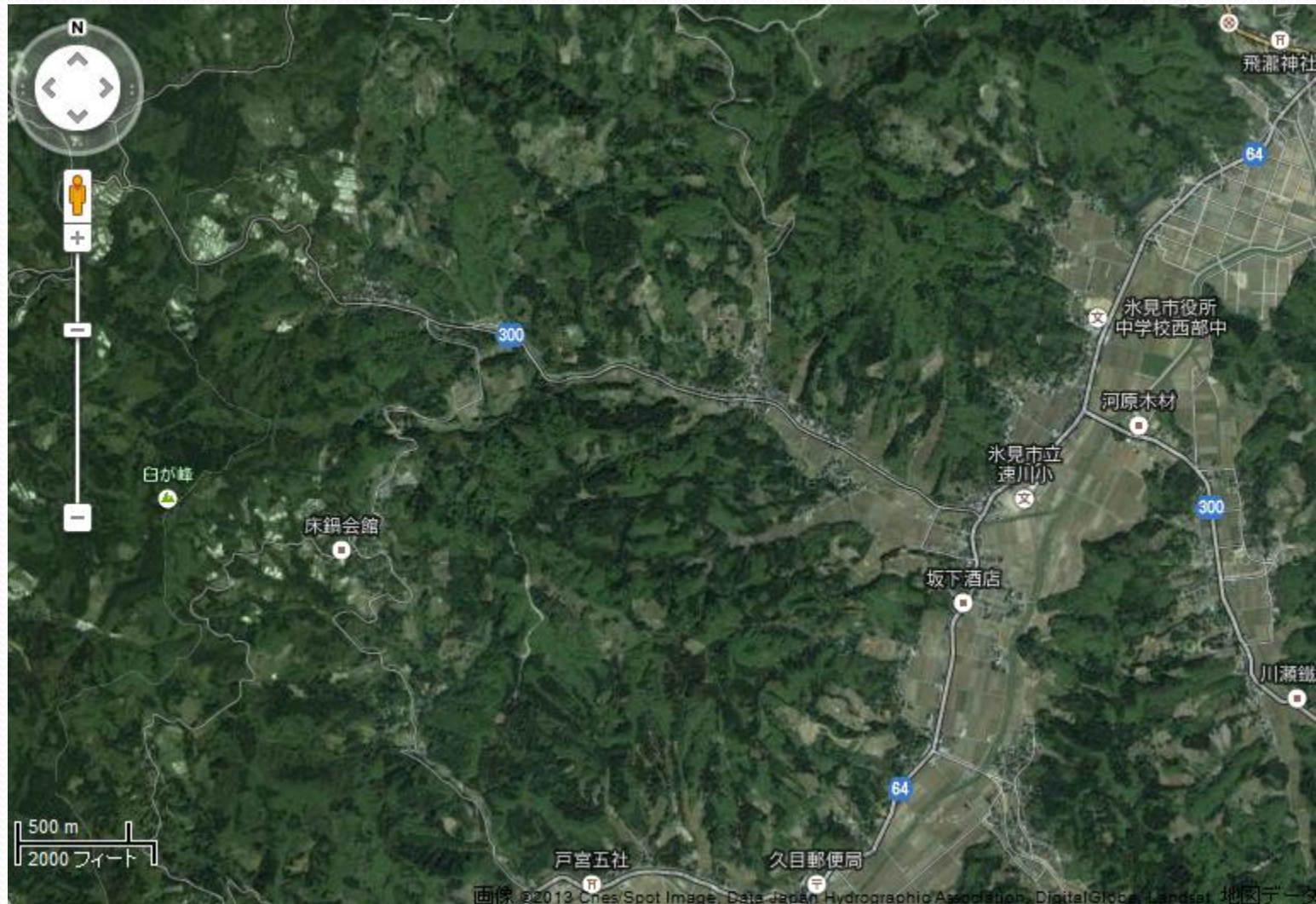
市債残高の推移



「将来負担比率」とは・・・

市の財政規模に対して、借入金(市債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化したもの
(平成19年度決算より導入)

速川地区まちづくりふれあいトーク



1. 人口減対策について

- ・ 9月1日現在の県統計調査課推計が報道され、氷見市の人口は49,727人と5万人を割り込んだ。依然歯止めがかからない人口減要因の自然減、社会減の各対策をお聞きしたい。

9月1日現在 県内の人口

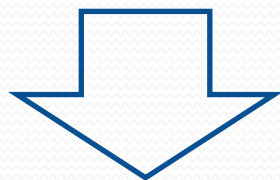
市町村名	人口	対前月比	市町村名	人口	対前月比
富山市	419,578	7	高岡市	172,876	-67
滑川市	33,292	-13	氷見市	49,727	-80
上市町	21,344	-33	砺波市	49,200	3
立山町	26,855	-40	南砺市	52,721	-36
魚津市	43,832	-20	小矢部市	31,009	-17
黒部市	41,445	-35	射水市	92,589	-38
朝日町	12,866	-6	舟橋村	2,967	5
入善町	26,141	-27	富山県	1,076,442	-397

数字は県統計調査課調べ。国勢調査を基準に住民基本台帳の移動数から推計

—ふれあいトーク—

子ども・妊産婦医療費助成事業

小学6年生まで対象



平成25年10月診療分からb

中学3年生までに拡大

2. 過疎対策について

・過疎対策は、深刻な問題だ。田舎（農村）が消滅しないうちに、過疎集落等自立再生緊急対策事業のような魅力的でインパクトのある国庫事業等を是非とも誘致願いたい。ついては、自治体間競争で頑張っていたいただき、まだまだやる気の地域を何とかサポート願いたい。

元気な村 ボーナズが出る村(鹿児島県柳谷集落)



柳谷(やねだん)で環境保全型農業に取り組むみなさん

鹿児島県鹿屋市串良町 柳谷(やねだん)集落 「地域再生で、ボーナスが出る村」

柳谷集落(愛称:やねだん)は、人口300人うち65歳以上が4割という、過疎高齢化の集落でしたが、約10年ほど前から、集落のリーダー豊重哲郎さんを中心に、集落で労力や経験を提供しあって、独自の商品開発で自主財源を増やし、やねだんの福祉や教育を充実させています。

3. 無医村対策について

- ・ 久目地区のように、週 1 回でも医師の巡回診療が行われる医療環境の整備を望む。

へき地巡回診療

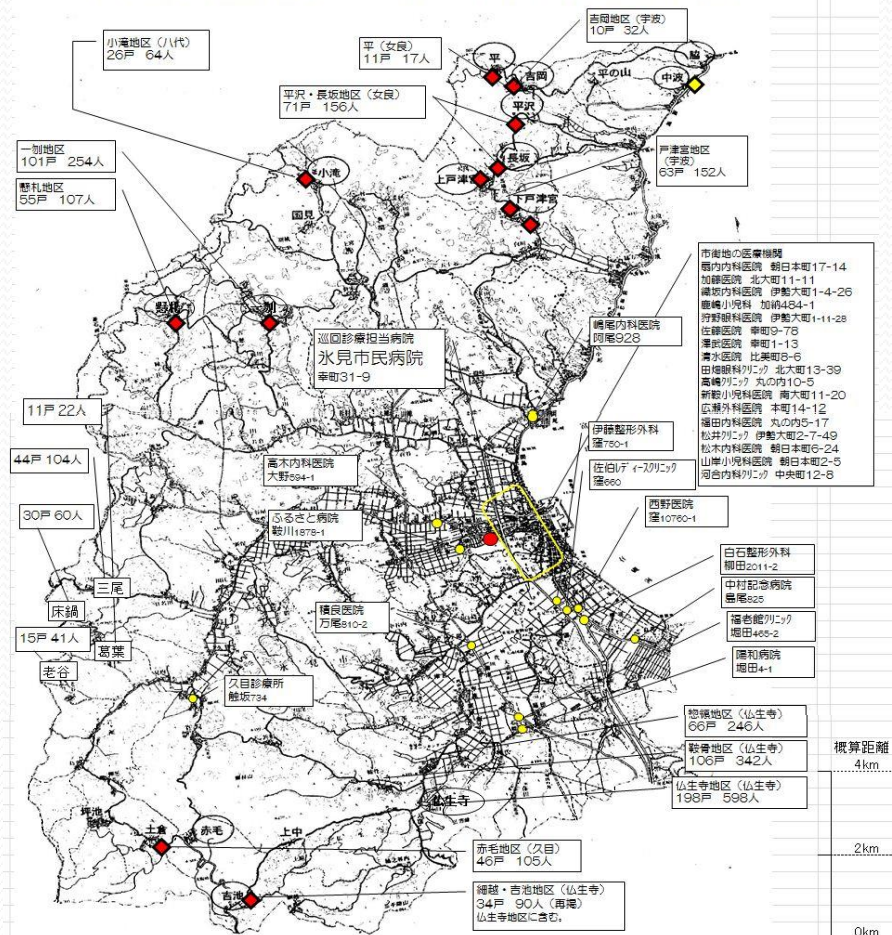
対象地域(無医地区)

半径4Km以内に50人以上が居住し、容易に医療機関が利用出来ない地域

具体的には

- ・定期交通機関が無い場合
- ・定期交通機関があるが**1日3往復以下**であること
- ・定期交通機関が所要時間が1時間を超える場合

氷見市医療機関・へき地巡回診療実施地区図



女良地区（平・上戸津宮・平沢・長坂等）

八代地区（小滝）

宇波地区（下戸津宮）

碁石地区（一刈・懸札）

仏生寺地区（細越・吉池）

久目地区（赤毛）

H24年度（年間実績）

12箇所・244回

延べ患者数約 1,100人

4. 安心生活創造事業について

・ H21年度朝日丘、H22年度久目の両地区社協が安心生活創造事業の先行指定を受けて現在活動中で、順次各地区社協が指定予定とのことです。当地区でも重要な事業と位置づけていますが、懸念は経費（助成金）問題です。公的助成は3年間見込まれますが、仮に助成が打ち切られたから事業を止めるというわけにはいかないなので、本事業の公的助成について問う。

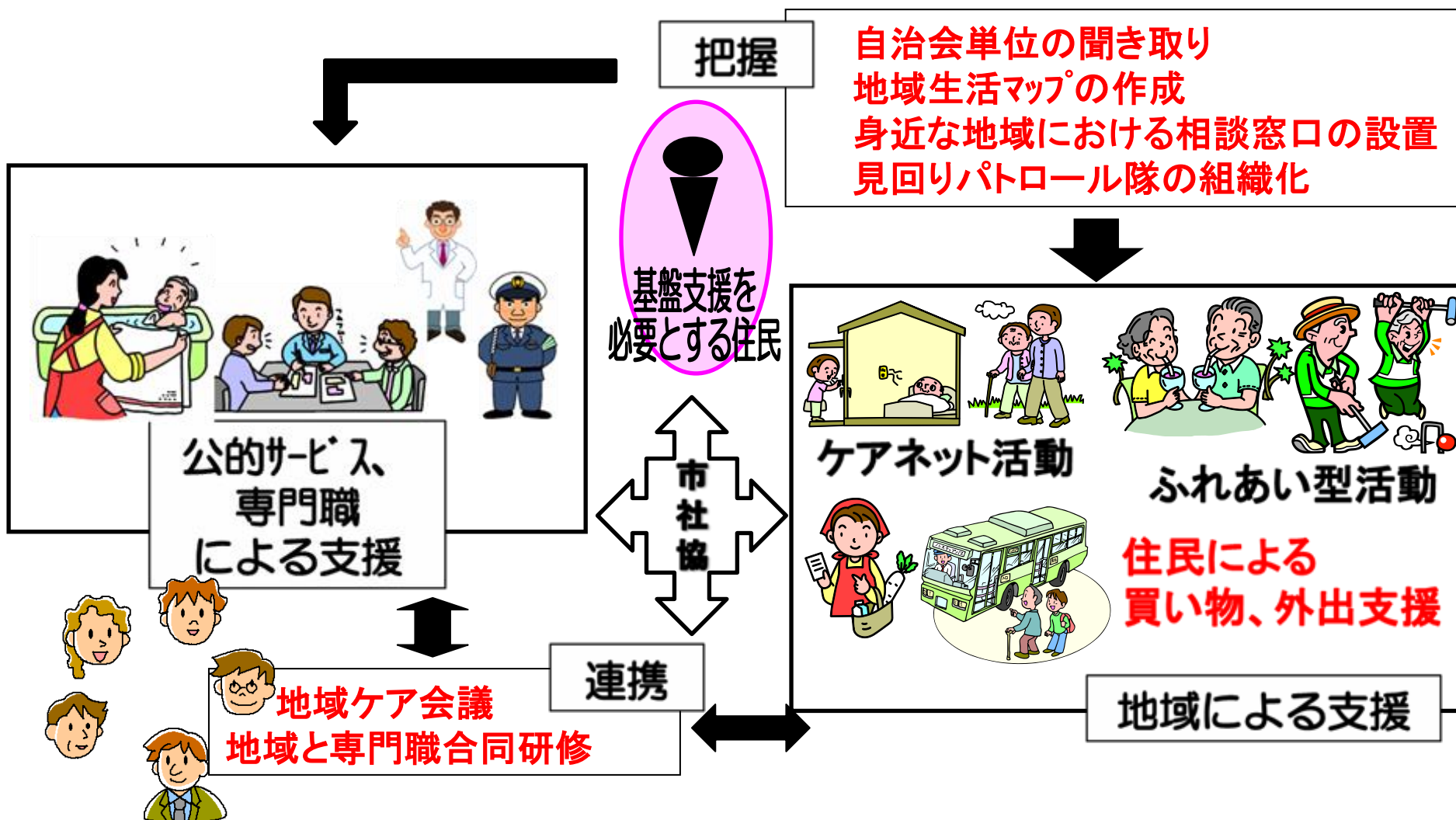
5. 買い物支援について

- ・ 買い物やその他の用事のため、予約で車での送迎をしていただける施策の充実を望む。

6. 移動販売車の巡回について

- ・ 地元で食料品や雑貨等の買い物ができなくなって久しく、高齢者対策として昔のような移動販売車の巡回を望む。

安心生活創造事業を活用した 氷見市における生活支援体制の全体像



安心生活創造事業の3原則

- 1 基盤支援を必要とする人々とそのニーズを把握する。
- 2 基盤支援を必要とする人がもれなくカバーされる体制をつくる。
- 3 それを支える安定的な地域の自主財源確保に取り組む。

経費の支援

初年度 50万円

2年目 90万円

3年目以降は 30万円

+ 自主財源

買物支援(久目地区)



外出支援(朝日丘)



—ふれあいトーカー—

7. 公民館事業について

・速川公民館は公設公民館として、毎年子供たちや一般を対象に床鍋地区虫送り行事、臼ヶ峰往来（御上使往来）ウォーク、三尾のそうけ（竹細工）づくり、田植え・稲刈り作業など多彩な地域伝承事業等を公民館の活動で取り組んでいるが、公民館活動の充実に向けた市の見解を問う。

地域コミュニティ活性化事業 (地域特色事業費)

地区のコミュニティ活動を行う場合に、
対象事業費の1／2を原則として助成

8. 農家・農村の活性化について

・日本は神代の昔から瑞穂の国と云われ、国土全般に農家・農村が農耕民族として根付いてきたが、今、農家・農村のコミュニティが崩壊の瀬戸際に立たされている。何故なら農業は採算が取れない産業になって久しい。しかし、国はようやく農業を成長産業に位置づけ、一般企業でも動きが見られる。市の農業への成長戦略（営農組織強化、6次産業化等）を問う。

個々の農業から、地域の農業へ

- 1 地域農業を行う組織づくり
「営農組合など農業経営体の育成」
- 2 地域による農村環境（農道、水路、荒廃地など）整備
- 3 経営所得安定対策
「米の直接支払い交付金」
「担い手への農地集積推進事業」
「担い手・総合対策」

6次産業化を推進

国＝6次産業化認定制度

農業改良無利子資金、新商品開発や販路拡大の取り組みに対する1/2補助

県＝がんばる女性起業発展支援事業

新商品開発や販路拡大、農産加工機器や直売所の整備などに対して補助

市＝一村一品運動支援事業

村おこしに繋げる農林産物の生産販売活動を行う組織・グループに10万円を限度に補助

9. 有害鳥獣対策について

・山林や里山では、近年イノシシ、タヌキ、ムジナ、外来種のハクビシン、シカ等の異常繁殖で生態系が急激に侵食され、農作物被害は甚大だ。原因のひとつは、山林や里山が荒廃したことがあげられる。特に、イノシシ対策について、頭数や被害状況、その対策を問う。



—ふれあいトーカー—

イノシシによる農作物被害及び捕獲檻 による捕獲数の推移

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
被害面積(ha)	0.3	3.9	4.2	9.2	
被害額(万円)	36	175	493	998	
捕獲数(頭)		2	0	25	82

※H25は10/20現在

地区別の電気柵の延長

地区	集落	総延長(m)			
		23年度	24年度	25年度	計
女良	中田		13,360	1,500	14,860
	中波		2,300	1,800	4,100
	脇		5,100		5,100
	姿			1,600	1,600
	平沢		7,800		7,800
	長坂		4,350	2,500	6,850
	吉岡		5,100	1,100	6,200
	平	5,280			5,280
宇波	白川		5,100	1,400	6,500
	戸津宮			1,900	1,900
	五十谷	4,280			4,280
八代	北八代	7,180			7,180
	針木		4,520		4,520
	磯辺			1,100	1,100
	吉滝			1,165	1,165
	森寺			2,500	2,500
	藪田			1,200	1,200
	小滝		8,050	1,200	9,250
	胡桃	13,580			13,580
	中田浦	4,410	2,000		6,410
	村木	4,940			4,940
碁石	味川		2,200	1,000	3,200
	一芻		5,320	1,600	6,920
	上余川		8,200	1,100	9,300
	懸札		7,290	1,700	8,990
	吉懸		5,380	1,500	6,880
	寺尾		500	1,000	1,500

地区	集落	総延長(m)			
		23年度	24年度	25年度	計
余川	余川		4,000	1,700	5,700
上庄	柿谷			2,050	2,050
速川	日名田		7,800	1,100	8,900
	葛葉		3,400		3,400
	小窪			1,200	1,200
	早借			2,260	2,260
	三尾			2,100	2,100
	床鍋			1,400	1,400
久目	赤毛			4,800	4,800
	触坂			1,500	1,500
	桑院			1,600	1,600
	岩瀬			2,400	2,400
	坪池			2,400	2,400
	土倉		4,200	1,500	5,700
	久目		1,000		1,000
熊無	論田			1,800	1,800
	熊無			1,500	1,500
仏生寺	細越			1,400	1,400
	鞍骨			1,200	1,200
	上中			1,100	1,100
	吉池			1,100	1,100
	脇之谷地		2,950	1,300	4,250
神代	神代			1,500	1,500
計	50集落	39,670	109,920	63,775	213,365

捕獲檻の設置地区

年度	購入数	設置地区(1箇所につき1個)
平成22年度	2	中田浦、高戸
平成23年度	10	戸津宮、中田、中波、三尾、胡桃、森寺、寺尾、赤毛、五十谷、土倉
平成24年度	12	平沢、宇波、戸津宮、白川、城戸、加納、余川、論田、鞍骨、吉池、坪池、棚懸
平成25年度	17	

イノシシ対策

- 1 イノシシの侵入防止対策
- 2 イノシシの捕獲
- 3 県内市町村との連携
- 4 集落ぐるみの対策の実施

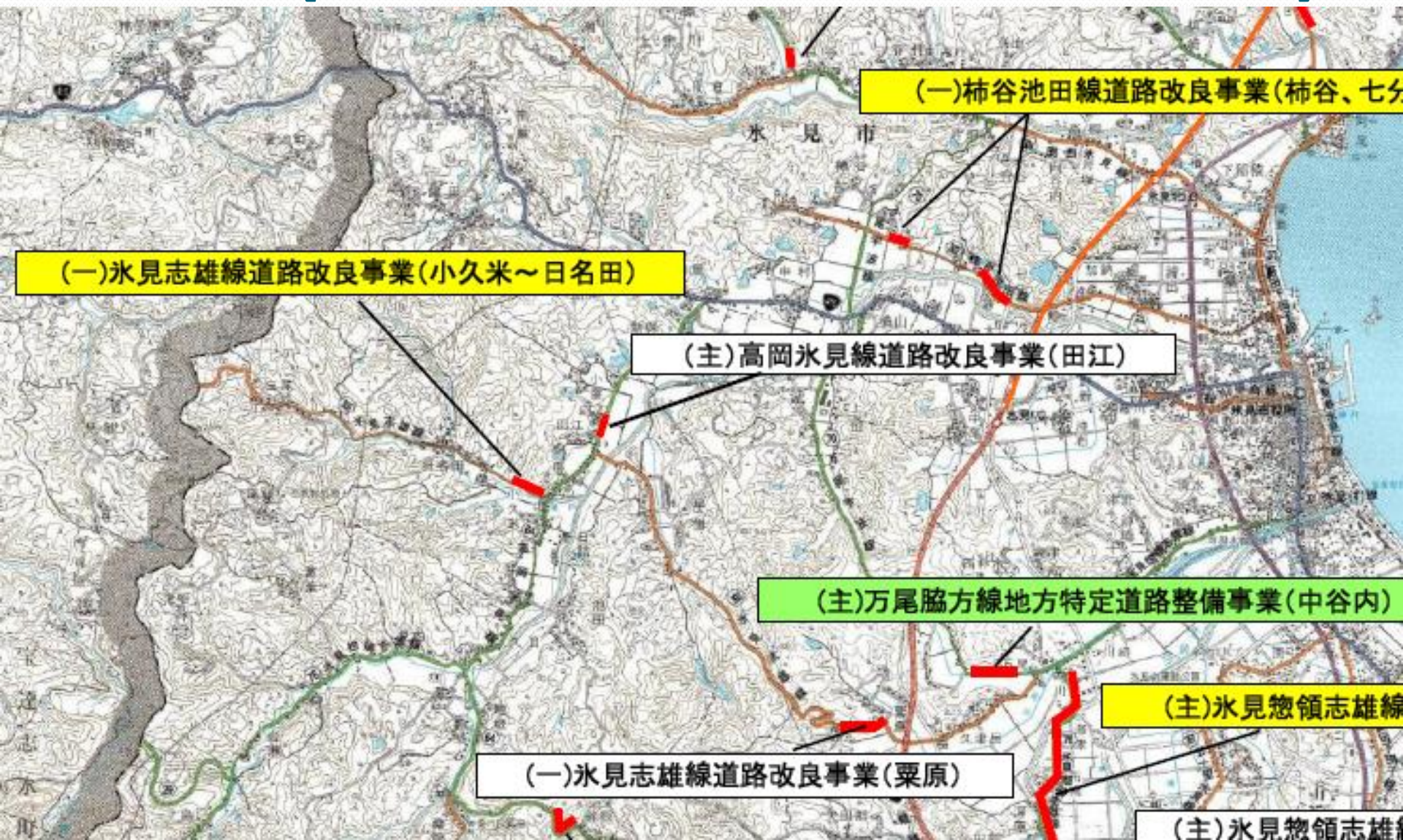


—ふれあいトーク—

10. 道路問題について

- ①主要地方道高岡氷見線の未整備区間の内、田江地区の事業促進を
- ②県道高岡志雄線（小久米～日名田区間）の約200mが未整備。事業促進を
- ③道路整備地域支援事業から農道、林道は対象から除外されているのは

県道整備[地方特定道路整備、県単独道路改良]

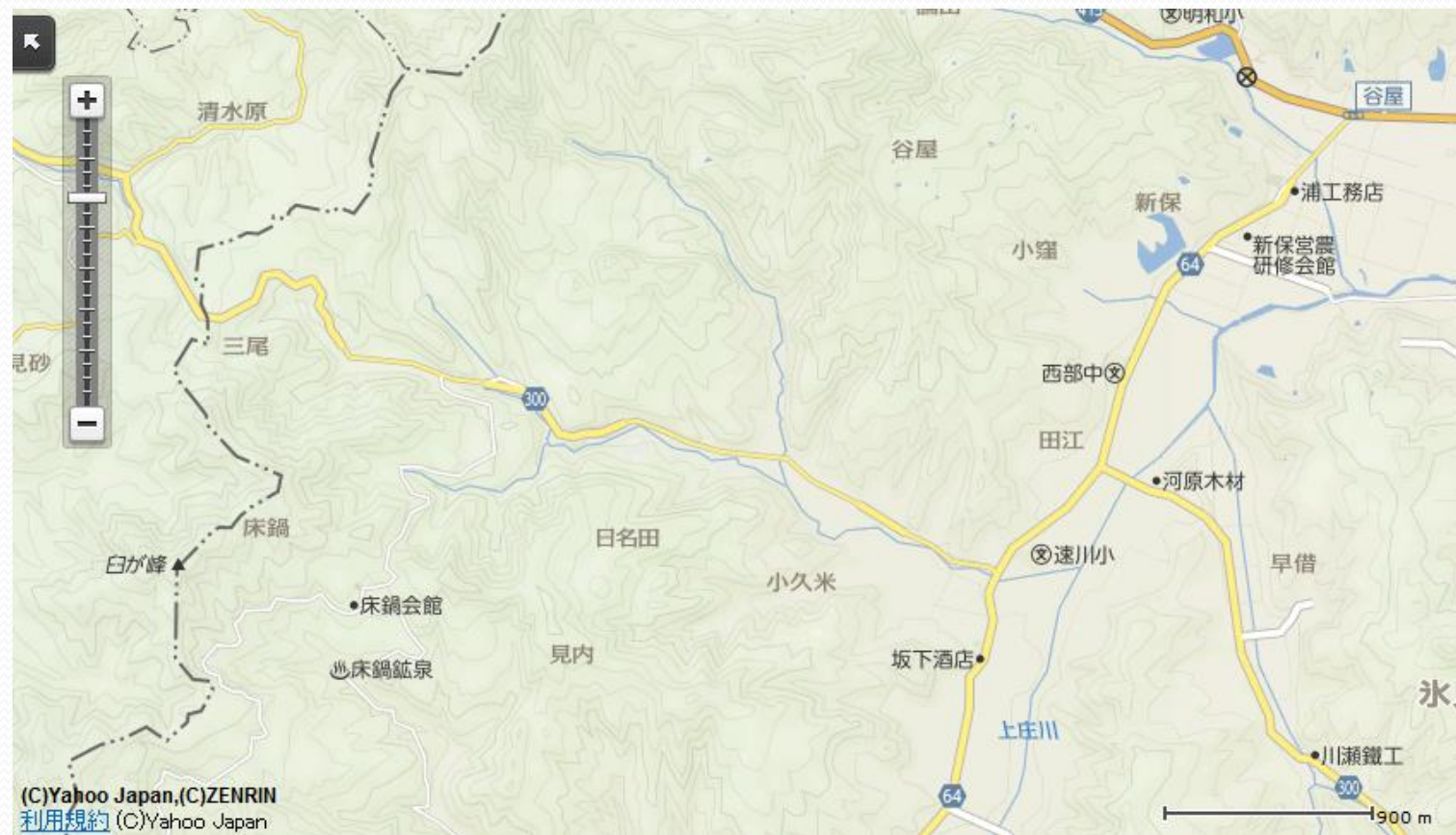


道路整備地域支援事業：地域が主体となった道路整備
くらしの道路整備（上限）50万円
やすらぎの道路整備、もてなしの道路管理（上限）30万円

道路の原材料支給事業：市道、林道及び農道を対象
砕石や生コンなどの原材料を支給

水路整備地域支援事業：地域が主体となった家庭排水路
の整備
工事費の2分の1以内（上限）50万円

速川地区まちづくりふれあいトーク



—ふれあいトーク—